

令和4年度 大阪大学大学院副専攻プログラム提案書（継続）

プログラム名	和文	経済学・経営学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）
	英文	Economics and Business Administration (Multilingual Expert Program)
提案（幹事）部局	部局名	経済学研究科
	実施責任者 （所属・職名・氏名）	経済学研究科・研究科長・福田祐一
連携部局	なし	
履修対象者	修士	
修了要件	修了要件単位（科目）数	本プログラム科目を14単位以上履修すること。7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。
	14単位以上	
趣旨・概要	<p>「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修できるよう、経済学専攻および経営学系専攻の経済学・経営学に関する専門科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、経済学・経営学に通暁した人材を育成することを目指す。</p>	
到達目標 （修了時に身につく能力）	<p>本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。</p> <p>① 経済学・経営学の基礎について理解している。 ② 経済学・経営学の理論を現実の経済・経営問題に応用できる。 ③ 現実の経済・経営問題について自分の意見を持ち、高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。</p> <p>DWAAの到達目標</p> <p>④異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ⑤新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。</p>	
カリキュラムの構成	<p>上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは経済学研究科（経済学専攻応用経済コース、経済学専攻経済制度・事例分析コース、経営学系専攻ビジネスコース）が開講する科目を提供し、経済学および経営学について系統的な履修を促す。</p>	
履修資格・条件	<p>【履修対象】</p> <p>1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「経済学・経営学」を修了した学生で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻_応用日本学プログラムのいずれかに入学する者。</p> <p>2. 上記1以外の者で、令和4年4月に、人文学研究科博士前期課程の外国学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻_応用日本学プログラムのいずれかに入学する者（又は、10月入学の者は令和3年10月に言語文化研究科の博士前期課程に入学した者）で特に希望する者。</p> <p>【定員】若干名</p> <p>【選考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は、選考の上、履修生を決定する。</p>	
前提知識の目安	<p>本プログラムを構成する各科目の履修にあたっては、学部レベルでの経済学・経営学の知識および理解を有することを前提とする。</p>	
履修申請	<p>MLEの案内冊子を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。</p>	
問合せ先	<p>経済学研究科教務係 TEL:06-6850-5204 FAX:06-6850-5212 E-mail:kyoumu@econ.osaka-u.ac.jp</p>	

大学大学院人文学研究科は、大学院文学研究科と大学院言語文化研究科の統合によって、令和4年4月に発足する予定